

●アイヌアートモニュメント（タペストリー）の設置について

札幌市では、アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現を目指し、平成 22 年に「札幌市アイヌ施策推進計画」を策定し、アイヌ文化についての市民理解を促進するため、アイヌ文化体験講座など、さまざまな取り組みを行ってきました。

このたび、その取り組みの一環として、アイヌ民族の工芸家の方によって、アイヌ文様を施し制作されたタペストリーを JR タワーと市本庁舎 1 階ロビーに設置します。このタペストリーは、アイヌの人々が自然の恵みを大切にしてきたという文化を尊重し、それを未来につないでいくために、アイヌ文化の技術や美しさ、そして自然との共生を伝えようと「自然」を共通テーマとして設定し、制作されたものです。

札幌市は、アイヌ文化を理解し尊重する風土を広げることで、北海道・札幌の歩みを振り返り、これからの豊かな社会づくりにつなげるため、この機会に多くの市民にアイヌ文化に触れてほしいと考えています。

1 設置場所・日時・オープニングセレモニーについて

(1) 札幌市役所設置作品

日時：平成 26 年 8 月 29 日（金）12:20～

場所：市本庁舎 1 階ロビー

オープニングセレモニー：

上田市長らにより除幕された後、アイヌ民族によるアイヌ伝統舞踊を披露する。

(2) JR タワー設置作品

日時：平成 26 年 9 月 3 日（水）10:00～

場所：JR タワー1 階「西コンコース」（中央区北 5 条西 2 丁目）

オープニングセレモニー：

上田市長らにより除幕された後、アイヌ民族によるアイヌ伝統舞踊を披露する。

2 作品について

設置作品であるアイヌ文化の象徴「アイヌ文様」の刺しゅうを施したタペストリーは、アイヌ民族の文化を市民や来訪者に広く伝えるため、「自然」という共通テーマで市内在住のアイヌの工芸家の方により制作された。

このテーマは、アイヌの人々が自然の恵みを大切にしてきたという文化を尊重し、それを未来につないでいくために、アイヌ文化の技術や美しさ、自然との共生を伝えようと設けられたもの。

なお、アイヌ文様は、アイヌ民族の伝統衣装や生活用具などに広く施されており、独特の形状による美しさを特徴の 1 つとしている。また、悪いものを寄せ付けないという意味（「魔よけ」）もあるとされている。

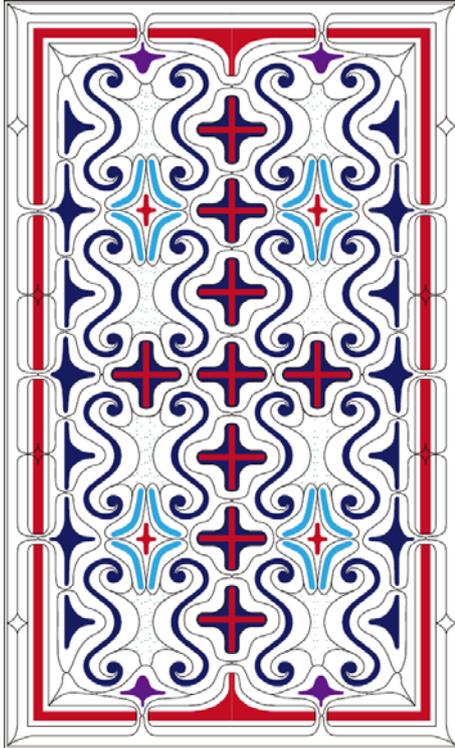
3 制作者、作品タイトル、作品の大きさ

(1) 札幌市役所に設置する作品：縦 1500mm×横 900mm

(4 作品を 2 作品ずつ入れ替え)

○制作：飯田 米子さん

モレウノカ～「渦巻き模様」



○制作：宮田 初枝さん

モシリ～「静かな大地」



○制作：宮川 正子さん

レラアシ～「風が吹く」



○制作：石井 美香さん

エトイオポシパ～「萌え出る」



(2) JR タワーに設置する作品：縦 2000mm×横 2500mm

○制作：加藤 町子さん

コタンシリヘカッタラ（シネッパ）～「村の四季と子供達」



※作品はイメージであり、実際の作品と異なる場合があります。

4 その他

このアートモニュメントの設置は、国や自治体、アイヌ関係団体などで構成される推進協議会が展開している、アイヌ語のあいさつ「イランカラプテ」（「こんにちは」の意）を、「北海道のおもてなし」のキーワードとして普及させる「イランカラプテキャンペーン」の促進にもつながる取り組み。

また、「都市と自然」をテーマとする札幌国際芸術祭と連動した取り組みでもあり、芸術祭終了後も作品は常設で展示する。

問い合わせ先

市民まちづくり局市民生活部アイヌ施策課 高橋・涌島

電話：211-2277